令和6年度 森林計画等に関する検討会 議事概要

日 時：令和7年3月6日（金）14:00～16:00

場 所：東北森林管理局 大会議室

出席委員：石田委員、泉委員、齋藤委員、白壁委員、鈴木委員、清和委員、珍田委員、鳴海委員、
林委員、福岡委員、山中委員

議 事：地域管理経営計画及び国有林野施業実施計画の策定・変更

【委員からの主な意見】

- ・面的複層林という用語について、実態を踏まえ、今後見直しを検討していただきたい。
- ・森林は様々なタイプがあり、樹種ごとに最大寿命も最大径級も違ってくるため、より緻密な計画を立てるべきではないのか。
- ・生物多様性の保全を進めるため、主伐について、保持林業の導入を検討して欲しい。
- ・令和7年度より住民懇談会に替わり、SNS等を活用し、若い人の意見を聞くことも必要だとは思いますが、多様な層から森林計画に対する意見を吸い上げるためには、懇談会の継続を検討してはどうか。
- ・樹木採取権制度の効果については、樹木採取権箇所と従前の箇所の伐採の効率性を比較するなど、効率的な施業に貢献しているか、数値的な評価をお願いします。
- ・ナラ枯れ被害のまん延防止に資するナラ類の若返りに向けた伐採について、もう少し長期的なタイムスパンで考えた方がよい。
- ・間伐材の利活用について、市民が学ぶための情報発信を積極的に行ってほしい。
- ・国有林材の生産が事業者の経営や木材の安定供給を支えている。事業計画量実効率が高まるよう取り組んでいただきたい。